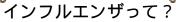




あけましておめでとうございます。冬休みは楽しく過ごせましたか?つい不規則な生活をしたり、食べ過ぎたりしませんでしたか?今年も子どもたちが健康に過ごせるように、ほけんだよりを通して病気の予防法などをお伝えしていきます。本年も宜しくお願いいたします。

インフルエンザ



咳やくしゃみなどによって感染し 広がる病気で、毎年多くの感染者 が出ます。悪寒、急な発熱、関節 痛に続き、下痢、嘔吐、咳、くし ゃみ、喉の痛みなどの症状が見ら れます。放っておくと周りへの感 染を広げるだけでなく、合併症の 危険も伴うので、インフルエンザ の症状かなと思ったら医療機関で 診てもらいましょう。

インフルエンザになってしまったら

まずは医療機関にかかり、インフルエンザかどうか診断してもらいましょう。高熱や下痢が続くと脱水症状を起こしやすくなるので、こまめな水分補給が大切です。感染力が強いので、発症した後5日を経過し、かつ、熱が引いてからも3日間は登園を控え、しっかりと自宅療養しましょう。



<u>RS ウイルス</u>

症状

4~5日の潜伏期間の後、鼻水、咳、発熱などのかぜに似た症状が現れます。通常は1週間前後で回復しますが、なかには肺炎や気管支炎を発症する子どももいます。特に心肺の基礎疾患がある子は重症化しやすいので、注意が必要です。また、新生児、低出生体重児、生後6ヵ月未満の乳児も重症化しやすいと言われています。手洗い・うがい(乳児は外から帰ったら水を飲ませる)をしっかり行い予防しましょう。

気管支炎や肺炎などを起こすウイルス感染症で、冬場に乳幼児の多くが感染します。終生免疫ではなく、2歳までにほぼ100%感染すると言われているため、毎年かかる子どもも多いようです。



水分補給、睡眠、栄養、保温に注意し、安静にして経過を見ます。脱水気味になると、痰が粘稠になって吐き出すのが困難になるので、水分をこまめに与えましょう。

12 月の感染症情報

(11/28~12/27) A 型インフルエンザ さ1 名

B型インフルエンザ ふ1名

おたふく風邪 き1名 *受診して感染症と 診断された場合は 早急に保育所にご

連絡ください。